

建通新聞

中部

足立参議院議員、岐阜県内の被災地視察



写真右から岐阜県の井上河川課長、佐竹岐阜県建設業協会会長、足立議員、前田守廣岐阜県建設業協会副会長

足立敏之参議院議員が25日、平成30年7月豪雨による岐阜県内の被災地4カ所を視察した。足立議員は「公共施設に影響を与えている被災現場もある。地域建設業の力を借りて復旧を急いでいるが、地域の安心のためにも大型補正などの予算付けが必要だ」と述べ、早期復旧へ全力の支援を約束した。

視察には岐阜県建設業協会の佐竹武会長が同行。それぞれの現場では、被災日から復旧活動に取り組み建設業協会の地区役員が出迎え、被災状況や復旧対策については岐阜県の職員が対応した。

最初に訪れた和良川護岸決壊(郡上市)の現場では、増水時に流れが強くなる水衝部(すいしょうぶ)の護岸が崩れた状況について、岐阜県の井上清敬河川課長が応急復旧や今後の対策などを説明した。

佐竹会長は「復旧活動に全力を注ぐとともに、今回の教訓を今後に生かすための検証も行い、より強固な災害時の体制を整えたい」との考えを示した。